

授業科目名		担当講師名		対象学年	
論理学		松下 尚明		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	2 (30)	教室	前期	不定期 (集中講義)	不定期 (集中講義)
実務経験	本科目は、大学での非常勤講師としての実務経験のある教員が講義				
学修内容	論理的思考に関するさまざまなアプローチと技法を学ぶ。				
到達目標	看護師は日々、他者の考えを理解するとともに、自己表現力を高める必要がある。そのために「読み・書き・考え・表現する『論理的力と技法』を実践的に身につける。				
事前学習	①テキストの指定ページ（下記）を熟読し、小論2本を作成しておくこと。 ②テーマは「触発されたこと、もしくは言葉」、あるいは『発見した言葉』をもとに自分で設定する。 ③必ず原稿用紙【少し集めの用紙、A4・横書き】1枚にまとめる。 ④小論1本目は、第1回目の集中講義開始日（早朝）とする。 ⑤小論2本目は、第2回目の集中講義開始日（早朝）とする。				

授業計画

No.	授 業 内 容
1・2・3	論理的思考への招待 小論1本目（テキスト P3～P95）提出【登校時】 論理的文章の構成法、六六討議の論理と技法
4・5・6	論理の美と伝達性、言語表現法のまとめ、提出小論の論理的相互推敲(演習)
7	発想を磨く KJ 法：KJ 法の論理
8	KJ 法の技法—演習 課題：レポート作成【「論理学」というものを受講して思ったこと、考えたこと】
9	話し言葉の論理学 小論2本目（テキスト P99～P214）提出【登校時】
10・11・12	論理力を高めるメモの技法・整理の技法、クリティカルシンキング、発表【KJ 法によって私たちの考えたこと】・講評・まとめ
13・14	プロの論理的世界・ベテランの日常世界・カンファレンスの論理的展開
15	終講テスト（50 分）・生涯学習としての論理学
履修上の要件	小論作成に積極的に取り組むこと。これが履修の基本となる。
テキスト、教材、参考書	『南薩の地平にて』（松下尚明書・鹿児島学術文化出版）・・・【本書は授業の参考書、小論作成のテキストとなる】
成績評価の方法	試験 50％・小論等提出物 30％・受講態度 20％を基準に総合評価する。
備考	論理学は頭で分かるとともに、実践的に体得する必要があること【訓練】に留意。